

6月10日 菊池自動車販売店協会  
菊池市民広場周辺で清掃ボランティア

菊池自動車販売店協会（長尾隆輔代表）の皆さんが、菊池市民広場周辺で清掃ボランティアを実施しました。社会貢献の一環として実施しており、今回で50回目。市内各所のごみ拾いのほか、あいさつ運動も行っています。長尾代表は「以前と比べるときれいになった。日頃は競争している店舗が地域貢献のために協力している。今後も継続して活動の輪を広げていきたい」と話しました。



清掃に参加した会員の皆さん。山鹿市の販売店も参加しました

6月15日 菊池たばこ販売協同組合  
ひろえば街が好きになる運動

菊池たばこ販売協同組合（本田秀昭理事長）の皆さんが、きくち観光物産館の周辺道路の清掃作業を行いました。喫煙マナーの向上と環境美化対策を目的に年6回、毎年実施しています。本田理事長は、「ごみの量はかなり減ってはいますが、依然としてたばこの吸い殻などが見られます。ポイ捨てや喫煙マナーなどの改善にもつながるよう、これからも活動を続けたい」と話しました。



菊池たばこ販売協同組合の皆さんと江頭市長

6月18日 東アジアジュニア空手道選手権大会  
初出場で上野翔暉さんが優勝

東アジアジュニア空手道選手権大会が中華台北の桃園で開催され、日本代表で九州学院高校3年の上野翔暉さん（五海）が男子組手-61kg級で優勝しました。4月のナショナルチームの選考会でメンバー入りし、初出場ながら底力を見せました。上野さんは「多くの人に応援してもらい優勝することができた。これからも皆さんへの感謝を忘れず、日々の稽古に励みたい」と抱負を述べました。



金メダルを手に笑顔を見せる上野さん

6月2日 被災地の復興支援を地域で支援  
茨城県から野間口区へ感謝状

茨城県から復興支援に訪れている災害派遣隊の活動を地域で支援したことに対し、茨城県から野間口区へ感謝状が贈られました。茨城県の保健師チームが活動拠点を探していたとき、野間口区は宿泊場所として集会所を提供。毎日朝食の炊き出しを行うなど、18日間にわたり、支援を続けました。川越純一区長は「区民の協力があつたからできたこと。今後も必要があれば協力したい」と話しました。



茨城県から届いた感謝状を手にする野間口区の皆さん

6月15日 牛乳の消費拡大を目指して  
「父の日に乳を贈ろう」キャンペーン

熊本酪農業協同組合菊池支所酪農女性部の皆さんが市役所を訪れ「父の日に乳を贈ろう」キャンペーンを行いました。同女性部が牛乳の消費拡大などを目的に毎年実施。「牛乳を飲んで毎日頑張ってください」と江頭実市長と木村利昭副市長に牛乳を贈りました。

このキャンペーンは、西日本最大の酪農地帯である菊池地域から始まったもので、今では全国各地で行われています。



左から木村副市長、江頭市長、酪農女性部の皆さん

6月17日 2016年全国広報コンクール授賞式  
菊池広報が5年連続で全国表彰

2016年全国広報コンクール（日本広報協会主催）で、菊池広報が広報紙とホームページの2部門で入選し、ホームページは読売新聞社賞を受賞しました。本コンクールでの受賞は5年連続。地方自治体の広報活動の向上を目的に、昭和39年から実施されています。入選した広報紙は昨年12月号。新たにスタートした移住定住推進の取り組みを特集した内容が高い評価を受けました。



菊池広報 12月号

ホームページ

3月28日 市長と語る会 in 田島  
田島地区で市長と意見交換会

田島保育園で「市長と語る会」が行われ、地域住民など約60人が参加しました。市長と語る会では、江頭実市長が「市民力で築くふるさと菊池」をテーマに講演。「癒しの里菊池」を実現するための仕組みづくりなどについて話しました。講演会後の意見交換会では「田島地区への子育て世代の移住定住」「行政・大学・地元の連携によるまちづくり」などについて参加者と議論を交わしました。



真剣に耳を傾ける田島地区の皆さん

5月24日 わいふ一番館復興支援コンサート  
尺八の音色と歌声に酔いしれました

尺八奏者のドイツ人、ウヴェ・ワルターさんの被災地慰問コンサートがわいふ一番館であり、市内外から約50人が来場しました。ワルターさんは国内外で講演会などを開催。東日本大震災でも復興支援コンサートを行ってきました。この日は、県在住のフォークデュオ「ワルツ」の二人と「りんご追分」やジャズなど10数曲を演奏。パントマイムや歌も披露し、観客を癒やしていました。



左からワルツの二人と尺八を演奏するワルターさん

6月2日 春の叙勲  
岩木憲文さんが瑞宝双光章を受章

元菊池市消防団長の岩木憲文さん（藤田）が瑞宝双光章を受章しました。岩木さんは45年の長きにわたり、消防団活動に従事。市民を火災などの災害から守るとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に大きく貢献されました。岩木さんは「これまで支えていただいた皆さんに受章の報告ができて良かった。今後もこれまでの経験を生かして地域の発展に貢献したい」と抱負を述べました。



受章した岩木憲文さん

2月20日・21日 域学連携事業  
農家の暮らしを体験しよう

菊池農業高校の生徒が、小学生を対象に次世代の地域リーダーを育てる「農高ふれあい塾」を開催。市内の小学生6人が参加しました。

グリーンツーリズムのポイントである「農家の暮らし」に直接触れることを目的に実施したもので、同高の高校生が先生役を務め、特別授業を開いたり、「やまあい村」の武藤勝典さんから動物の幸せを考えた飼育を学んだりしました。



高校生と一緒に卵拾いにも挑戦

5月14日・15日 熊本県建築士会菊池支部  
被災住宅応急危険度相談会

熊本県建築士会菊池支部が被災住宅応急危険度相談会を市内4カ所の公民館で開催。地震で住宅などが被災した市民143人が参加しました。相談会は同会の会員が「建築士の技能を生かして社会に貢献したい」との思いから2日間にわたり実施。参加者は被災した住宅の写真を持参し、直接建築士に相談するなど、住宅に対する不安解消や今後の対策などのアドバイスを受けました。



建築士が1件1件相談に応じ、アドバイスしました

5月27日 新商品を開発  
支援の思いをたくさんの人に届けたい

旭志のアイスショップ「ついでんスター」（芳賀祐司代表）が、友好都市の鹿児島県龍郷町から支援で届いた黒糖を使い、新商品を開発しました。黒糖は龍郷ワークセンターから、以前より交流のあった前川薫さん（戸城）へ届けられました。「龍郷町の皆さんの思いをできるだけ多くの人に届けたい」と前川さんが芳賀さんへ相談。龍郷町の黒糖と菊池市の牛乳を使ったコラボ商品が誕生しました。



アイスは黒糖と黒糖しょうがの2種類。1個350円。現在は店頭販売のみ